

【メディア向け企画提案書】

勤怠管理が“命綱”に

災害大国ニッポンに求められる“日常型・安否確認”の新潮流

【企画概要】

日本は地震・台風・豪雨といった災害リスクが日常的に存在する国です。しかし、企業の安否確認体制は「災害が起きてから」「使われないことが前提」という“非日常対応”のままで、情報の未更新・連絡の行き違い・安否未確認などのトラブルが未だ多発しています。

この度、株式会社^{こうしん}庚申が発表した「^{ドクターオフィス ルックジョブ・ツール}Dr.オフィス LookJOB2」に搭載された“安否確認機能”は、日々の勤怠打刻情報（GPS 含む）をもとに、日常業務の中で自然に安否確認の準備が整っていくという画期的な仕組みです。

すでに特許も取得しており、日本初の取り組みとして、災害リスクへの企業の備えを見直すきっかけとなる可能性を持ったトピックです。

報道切り口（取材テーマ案）

① 社会性

- 防災やBCP（事業継続計画）の観点から、「安否確認は日常業務とセットであるべき」という新提案
- 中小企業の防災体制における課題と現実

② 新規性

- 勤怠×安否確認というこれまでにない機能連携
- 特許取得済み、日本初の技術（庚申社調べ） ※特許番号：特許第 7169410 号

③ ストーリー性

- 企業の防災担当者や総務が抱える“安否確認の悩み”に光を当てる
- 実際のデモ画面や利用者インタビューを交えた紹介が可能

④ 公共性・視聴者メリット

- 働く人、企業、家族すべてに関わる「命を守る勤怠」の考え方
- 災害時の“いざというとき”に、企業がすぐに対応できる仕組みとは

メディア掲載・放映に適した時期

- リリース開始日：2025年6月9日（月）
- 語呂合わせの「ルッ(6)ク(9)ジョブ」にちなむ話題性
- 梅雨入り・台風シーズン到来直前の“防災意識”が高まるタイミング

取材可能事項

- 株式会社庚伸 代表取締役 宮澤 敏によるインタビュー
- 開発責任者による企画背景・技術解説
- 実際のシステム画面デモンストレーション
- 想定災害時の安否確認フローの再現（動作デモンストレーション）

